

手のひらで
世界を刻む

日本精密株式会社

CODE : 7771

2024年3月期 決算説明資料

2024年6月7日



2024年3月期決算概況

2024年3月期 ハイライト ①

売上高

2024年3月期実績

2023年3月期実績

対前期比

6,728百万円

6,900百万円

△2.5%

計画達成率

102.4%

営業利益

2024年3月期実績

2023年3月期実績

対前期比

252百万円

181百万円

+39.3%

計画達成率

153.4%

2024年3月期決算のポイント

- ① 構造改革の成果により利益体質が定着。
- ② 釣具需要に落ち着き。巡航速度に移行。
- ③ 円安による為替差益279百万円を計上（営業外収益）。

単位：百万円	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	増減額	増減率
売上高	6,900	6,728	△172	△2.5%
売上総利益	1,441	1,428	△12	△0.9%
売上総利益率	20.9%	21.2%	0.3P	
販管費	1,260	1,176	△84	△6.7%
販管費比率	18.3%	17.5%	△0.8P	0
営業利益	181	252	71	39.3%
営業利益率	2.6%	3.8%	1.1P	0
経常利益	257	448	191	74.3%
経常利益率	3.7%	6.7%	2.9P	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	175	390	215	122.6%
四半期純利益率	2.5%	5.8%	3.3P	0



セグメント別概況・事業方針

セグメント別概況：時計部門 ①

売上高

4,924百万円

対前期比

+0.8%

セグメント利益

140百万円

対前期比

△44.6%

受注高

5,177百万円

対前期比

+11.0%

受注残高

583百万円

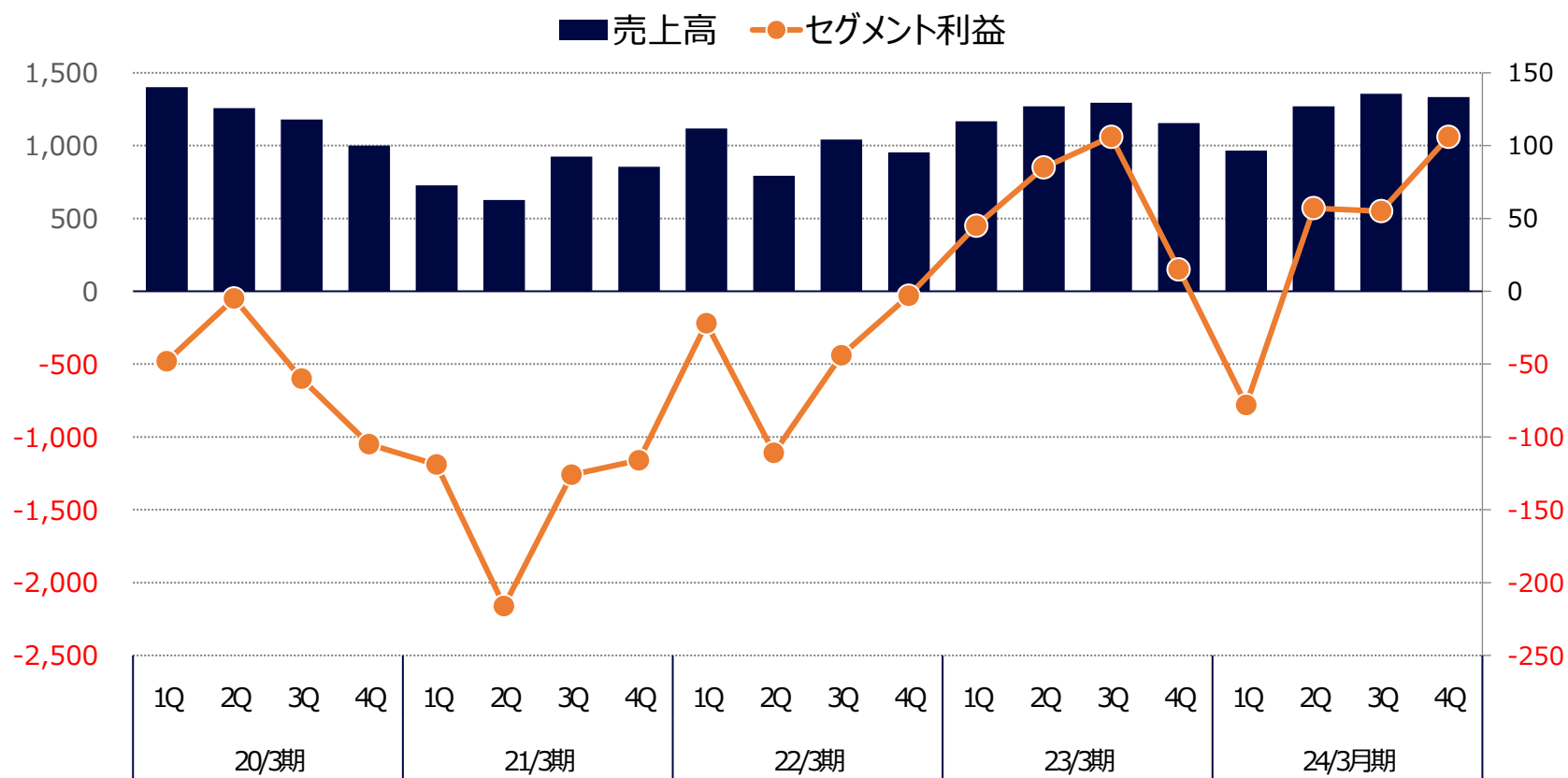
対前期比

+76.0%

セグメント別概況：時計部門 ②

海外取引先向けが苦戦。全体としては2Q以降回復、黒字を確保

売上高・セグメント利益（右目盛り） 四半期推移

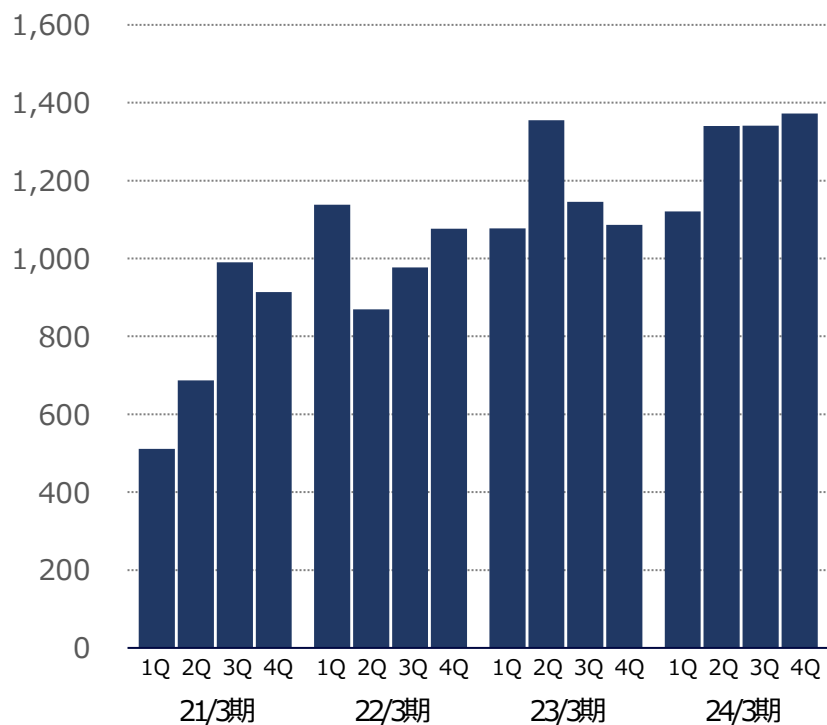


単位：百万円

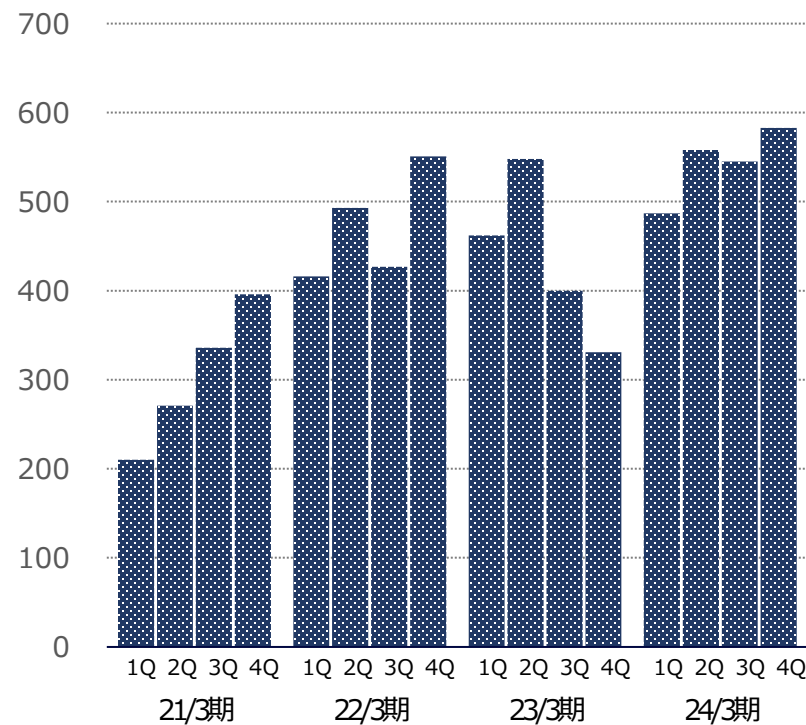
セグメント別概況：時計部門 ③

受注は増加傾向。受注残高も高い水準を維持。

受注高四半期推移



受注残高推移



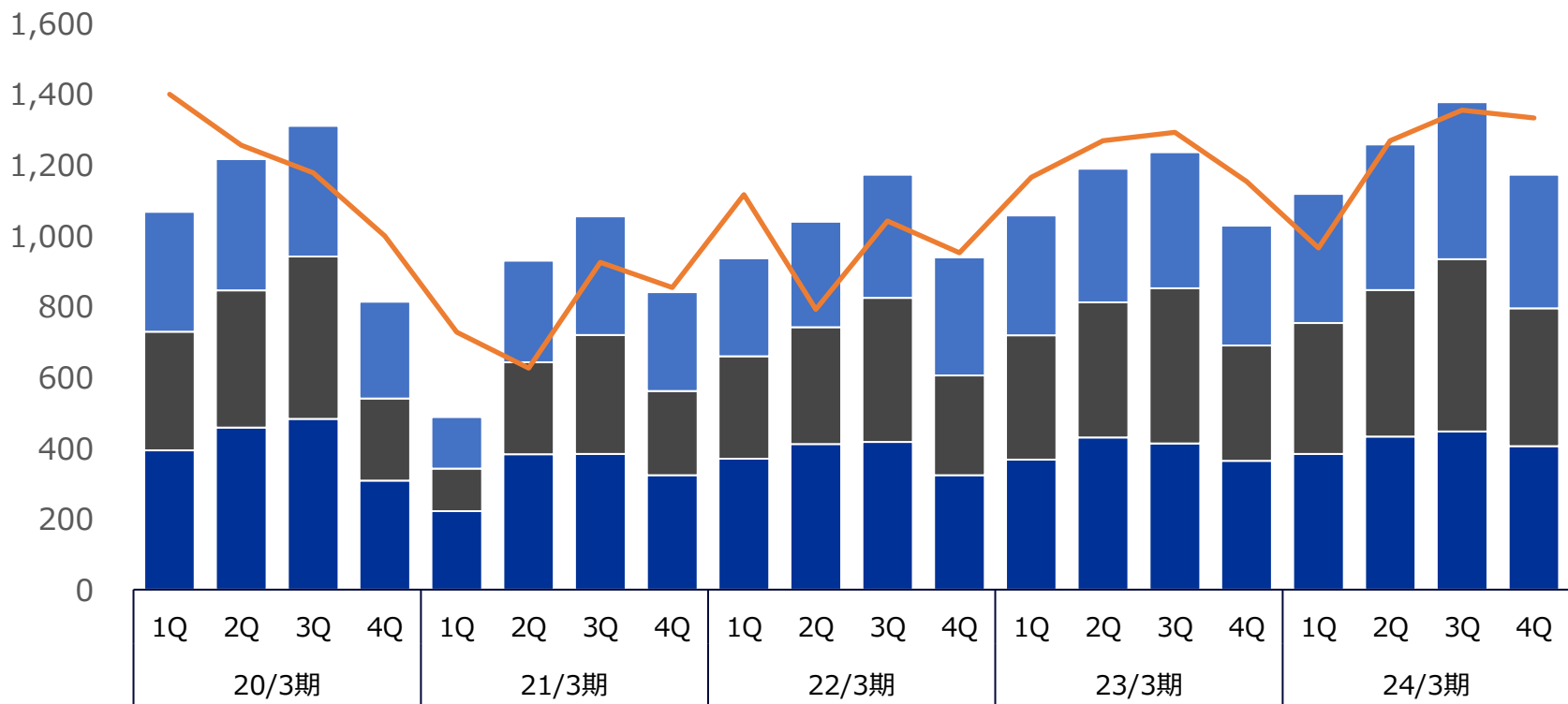
単位：百万円

セグメント別概況：時計部門 ③

国内大手時計メーカー3社の動向：腕時計市場は堅調

【国内主要時計メーカー 時計事業売上高推移】

■ カシオ ■ シチズン ■ セイコー — 当社時計売上



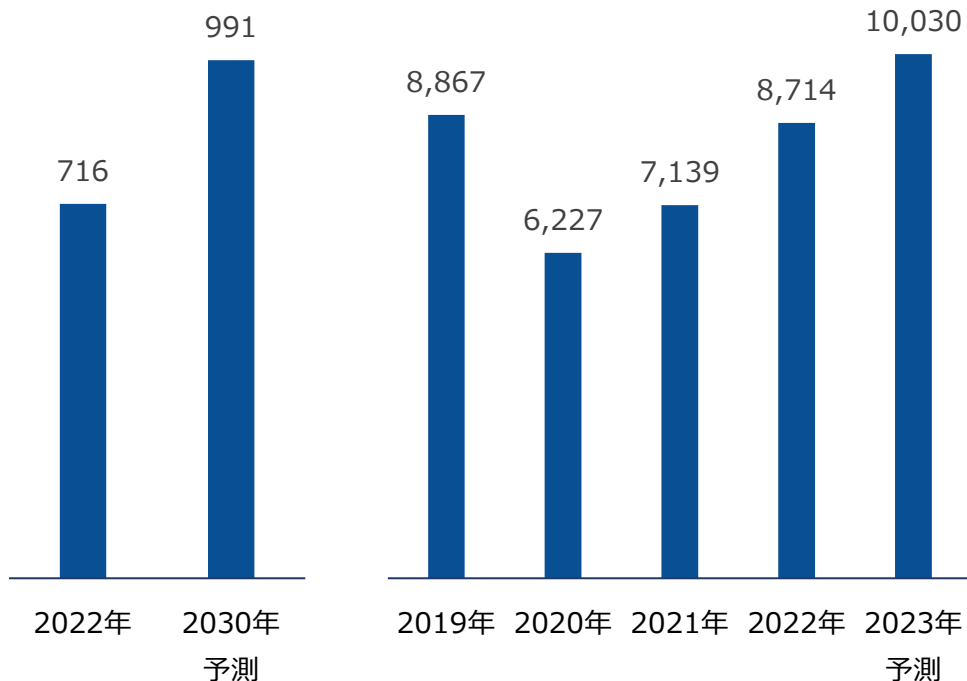
出所：各社決算説明資料より当社作成

単位：百万円

国内大手メーカーの計画はやや保守的

【世界腕時計市場予測】

単位：億ドル



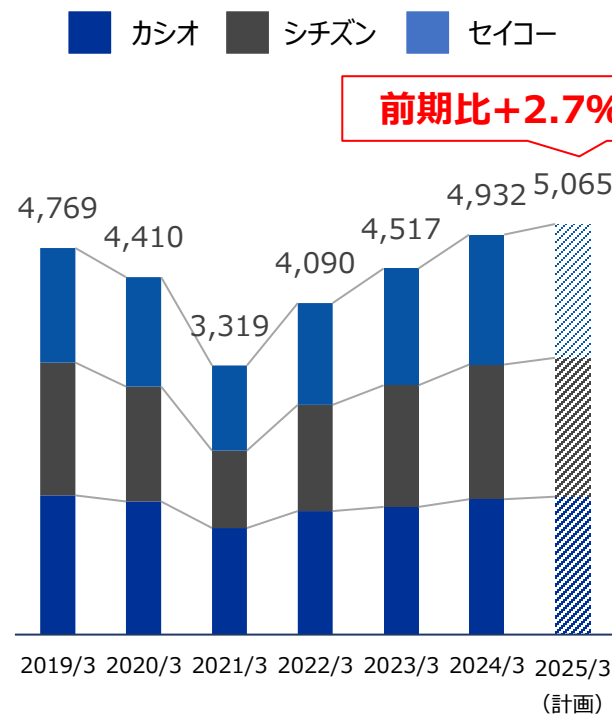
出典：DataM Intelligence「Global Watch Market - 2023-2030」

【国内腕時計市場動向】

単位：百万円

【国内主要時計メーカー 時計事業売上高推移】

単位：百万円



出所：各社決算説明資料より当社作成

セグメント別概況：メガネフレーム部門 ①

売上高

958百万円

対前期比

△**8.6%**

セグメント利益

58百万円

対前期比

+417.0%

受注高

951百万円

対前期比

△**5.2%**

受注残高

277百万円

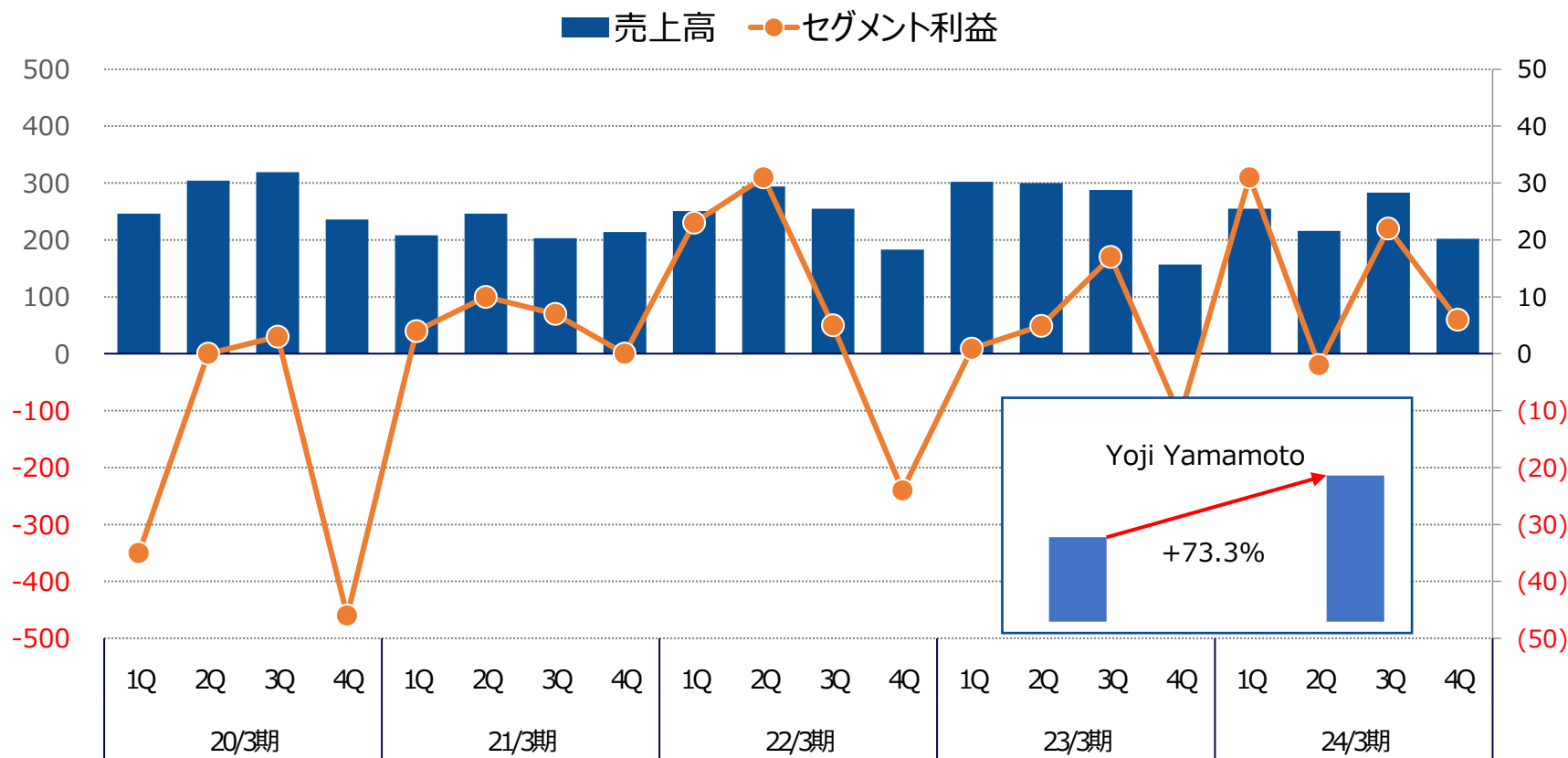
対前期比

△**2.4%**

セグメント別概況：メガネフレーム部門 ②

販促強化の成果Yohji Yamamotoが貢献

売上高・セグメント利益（右目盛り） 四半期推移

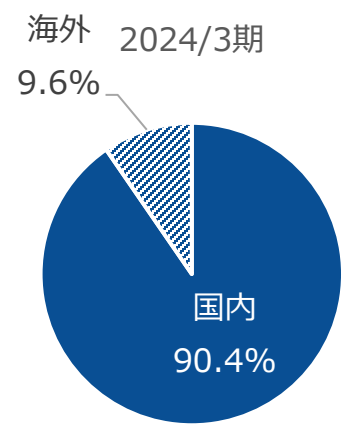


単位：百万円

メガネフレーム部門事業方針

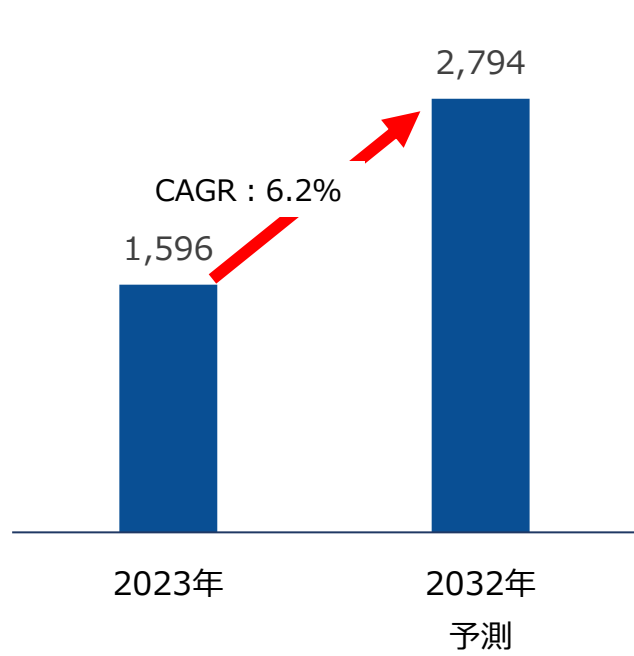
構造改革を優先し抑制していた海外営業を再開

【メガネフレーム売上構成比】



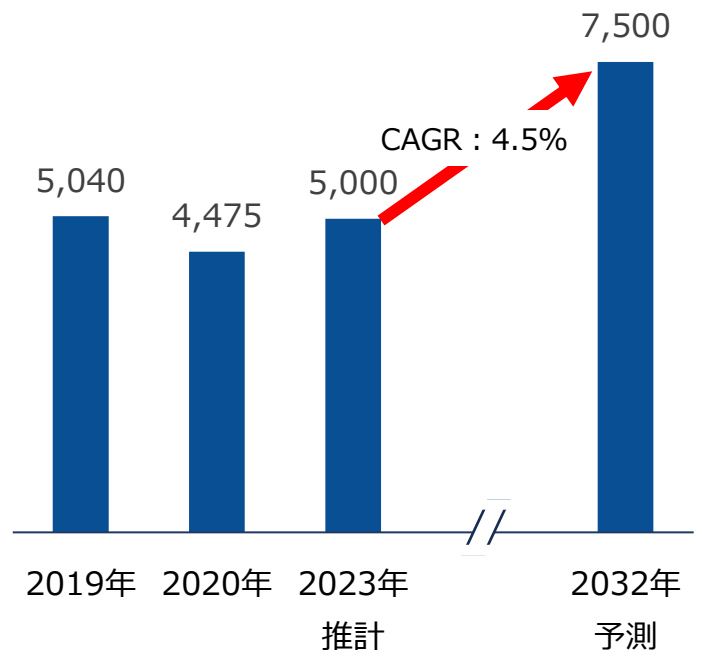
【世界アイウェア市場規模予測】

単位：億ドル



【国内アイウェア市場規模予測】

単位：億円



出典：IMARC Group「Eyewear Market Report by Product (Spectacles, Sunglasses, Contact Lenses), Gender (Men, Women, Unisex), Distribution Channel (Optical Stores, Independent Brand Showrooms, Online Stores, Retail Stores), and Region 2024-2032」

出典：矢野経済研究所「2023 アイウェアブランドマーケット」、IMARCグループ「日本の眼鏡市場レポート:製品別(眼鏡、サングラス、コンタクトレンズ)、性別別(男性、女性、ユニセックス)、流通チャネル別(眼鏡店、独立系ブランドショールーム、オンラインストア、小売店)、地域別2024-2032年」から当社推計

セグメント別概況：釣具・応用品部門 ①

売上高

845百万円

対前期比

△**12.6%**

セグメント利益

61百万円

対前期比

+140百万円

受注高

909百万円

対前期比

△**0.2%**

受注残高

230百万円

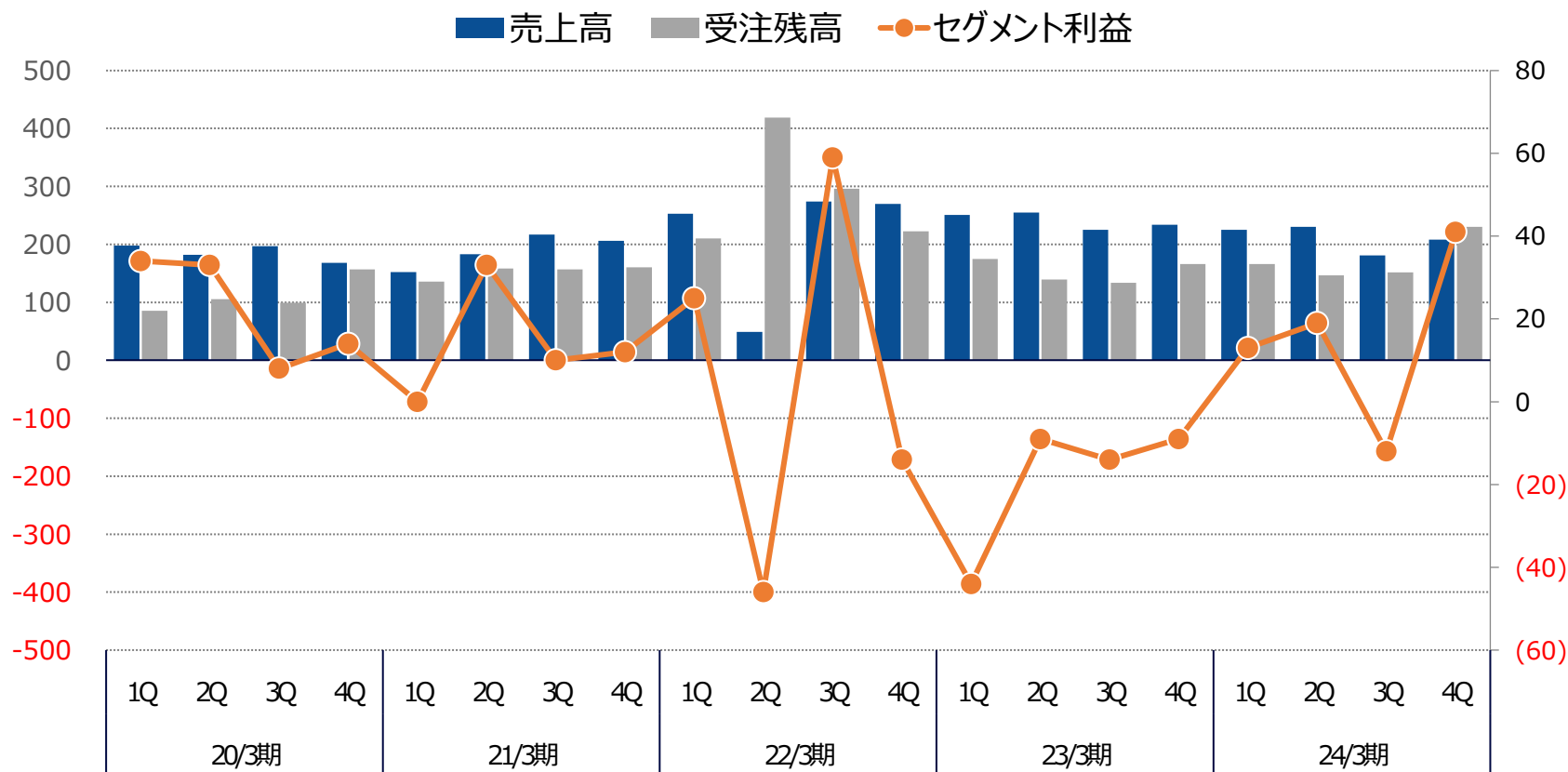
対前期比

+38.6%

セグメント別概況：釣具・応用品部門 ②

コロナ禍を終え生産体制正常化。黒字定着へ。

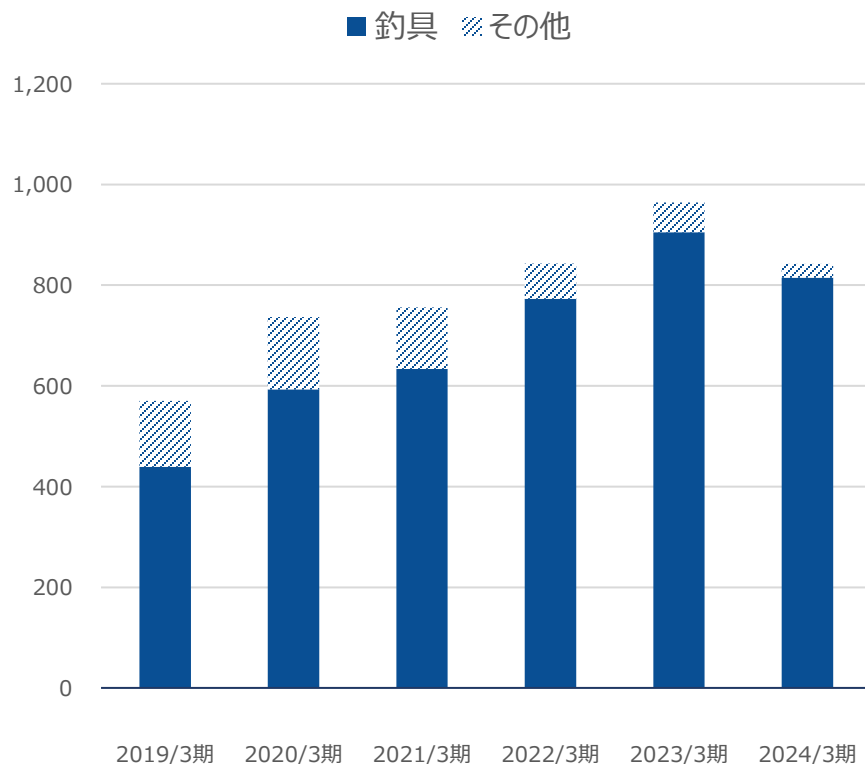
売上高・セグメント利益（右目盛り） 四半期推移



単位：百万円

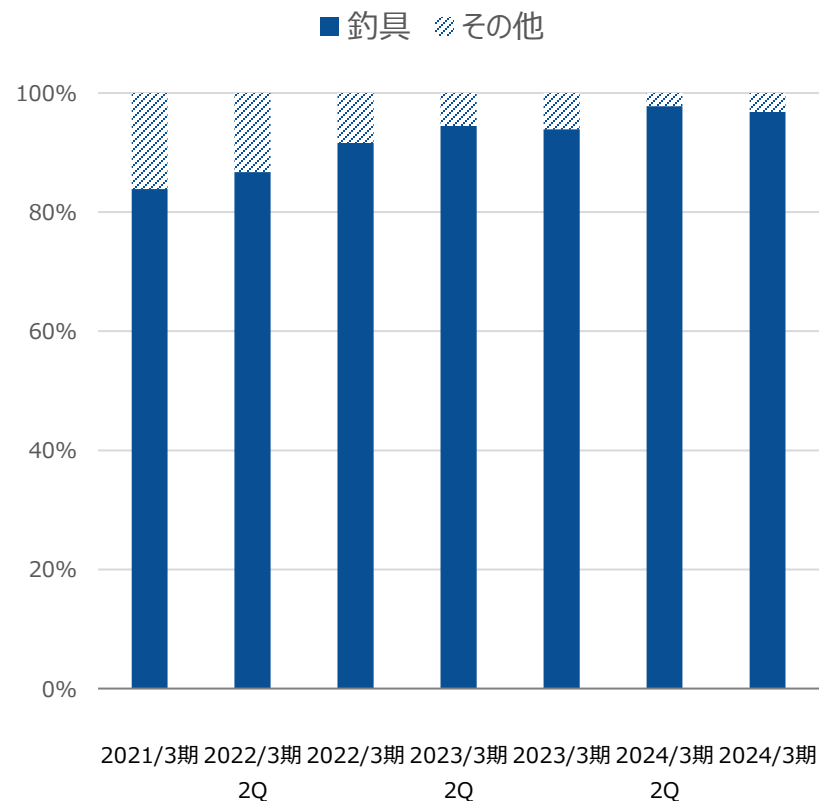
釣具市場の拡大は継続見込み。釣具以外の応用品開拓が急務。

【釣具、釣具以外の売上構成推移】



単位：百万円

【釣具、釣具以外の売上構成比】





2025年3月期通期計画

環境認識

□ ウクライナ問題、中東情勢に加え米国大統領選もあり、世界経済、金融・為替の動向に不透明感

➤ コストプッシュ型インフレにより原材料高が継続

原価UP要因



➤ 円安効果もありインバウンド消費は持続

需要増加要因



□ NEXT CHINAの流れは一層大きなものになる

➤ ASEANにおけるモノづくり需要の拡大

需要増加要因



➤ ASEANにおける労働力需要の増大

人件費UP要因



□ コロナ禍による特殊要因（特需、買控、操業停止）の影響の収束

➤ 工場運営の安定（生産計画、人員計画）

販管費安定要因



環境認識：『NEXT China』の動きはより大きな流れに

世界からモノづくり技術が中国へ

金属製時計バンド：世界生産の約8割

世界のモノづくり

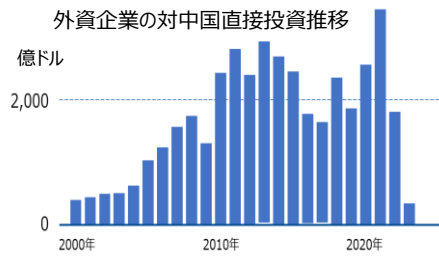
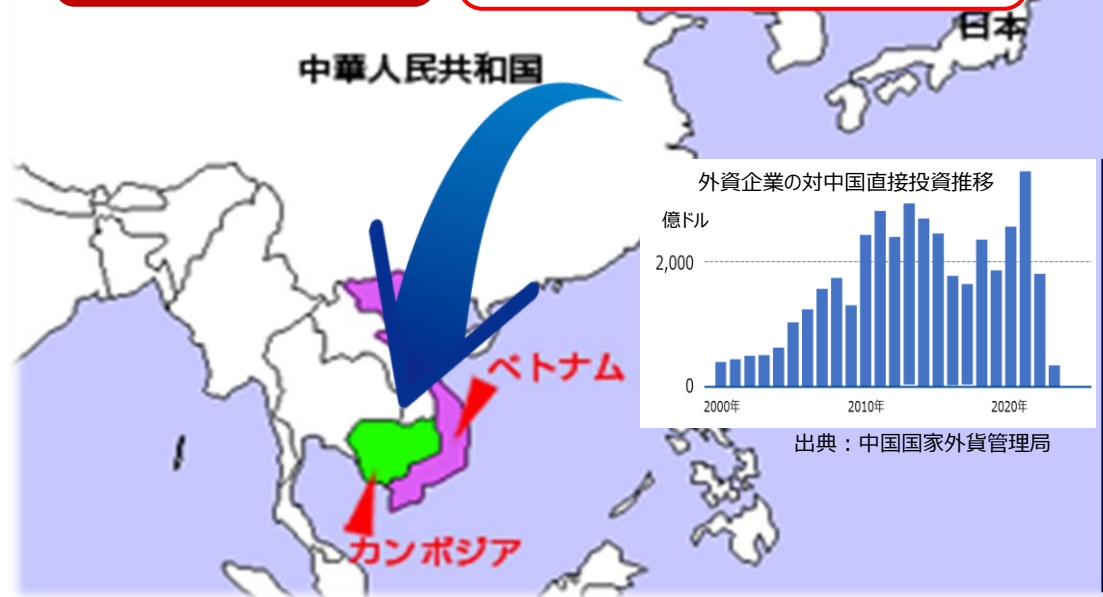
中国

その他

一人っ子政策+経済成長による若者の職人離れ

廃業・倒産による“生産体制崩れ”リスク顕在化

大手メーカーを中心にChinaリスクを回避する動き



ASEAN

ベトナム



カンボジア

日本精密

世界のモノづくりを中国から受け入れる体制を構築

2025年3月期事業方針・業績計画

世界情勢、金融・為替動向の不透明感から保守的に設定

- ① 原材料価格高騰、人件費の上昇に備えた原価低減策、積極的な設備投資の実施
- ② メガネフレーム部門における海外営業展開
- ③ 応用部門における新分野開拓営業の強化
- ④ 為替相場（ドル/円）は2024年3月末時点から10%程度の円高の可能性も想定

単位：百万円	2025年3月期 計画	2024年3月期 実績	増減率
売上高	6,646	6,728	△1.2%
営業利益	170	252	△32.6%
経常利益	129	448	△71.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	113	390	△71.1%

コーポレートスローガン

『手のひらロマンで世界を刻む』

手のひらロマンで世界を刻む

キャッチフレーズ

『肌に優しい金属加工技術』

肌に優しい金属加工技術



日本精密株式会社

手のひらロマンで世界を刻む

本資料は、今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は注記のない限り2024年3月31日現在の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。なお、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようにお願いいたします。

本説明動画に関するお問合せ

2024年3月期決算並びに2025年3月期業績計画に関するご質問は下記よりお問い合わせください。

お問合せメール : investors-7771@finantec-net.com

お問合せ用QRコード



お問合せ窓口開設期間 : 2024年6月7日～2024年7月31日